



埼玉県立大学

地域産学連携センター

【 2021 年度 活動実績報告書 】



目 次

ごあいさつ	1
地域産学連携センターの概要	2
1 産官学連携相談受付の窓口	3
（1）地域の企業、行政機関等との共同研究・受託研究・特定講座の受付窓口	3
（2）研究シーズ（2021年5月追加掲載）版発行	4
（2）産業界への学内情報の発信や研究成果の公表	5
2 大学の特色を活かした各種講座の開催	9
3 保健医療福祉従事者のキャリアアップのための専門職研修等	11
（1）専門職講座の実施状況	11
（2）社会福祉士実習指導者講習会	12
（3）専門職連携を学ぶ講座の開催	13
4 県・市町村等への支援、連携及び地域社会との連携の窓口	15
（1）県・市町村との共同調査、政策立案支援及び連携事業の実施	15
（2）本学教員の県・市町村の審議会等への委員派遣、研修会等への講師派遣	16
（3）教員免許更新講習	17
（4）中学、高校との連携（出張講座、開放授業、体験実習等）	18
（5）その他の地域との連携など	19
（6）地域専門職連携推進会議	19

ごあいさつ

大学の使命は、「教育」「研究」「社会貢献」の3本柱で構成されています。地域産学連携センターは大学の社会貢献窓口として、保健医療福祉および教養に関する教育・研究成果とその専門性を生かした「地域連携」「産官学連携」に取り組んでいます。

地域産学連携センターの事業は、下記の図に示すとおり「産官学連携」「オープンカレッジ」「専門職連携講座」「地域活動」の4つの事業で構成されております。

「産官学連携」では、教員の研究シーズと地元産業界のニーズとのマッチングを図り、共同研究や受託研究に繋げる支援を行っており、共同研究・受託件数は年々増加しております。

「オープンカレッジ」では、専門職のスキルアップのための専門職講座、県民の皆様の健康づくりや福祉の向上、生涯学習に役立つ一般公開講座、本学からの遠方地域にも対応したWeb講座、小・中・高生向け講座などを開催し、大学が保有する知識、情報、技術の社会還元と地域発信に積極的に取り組んでおります。

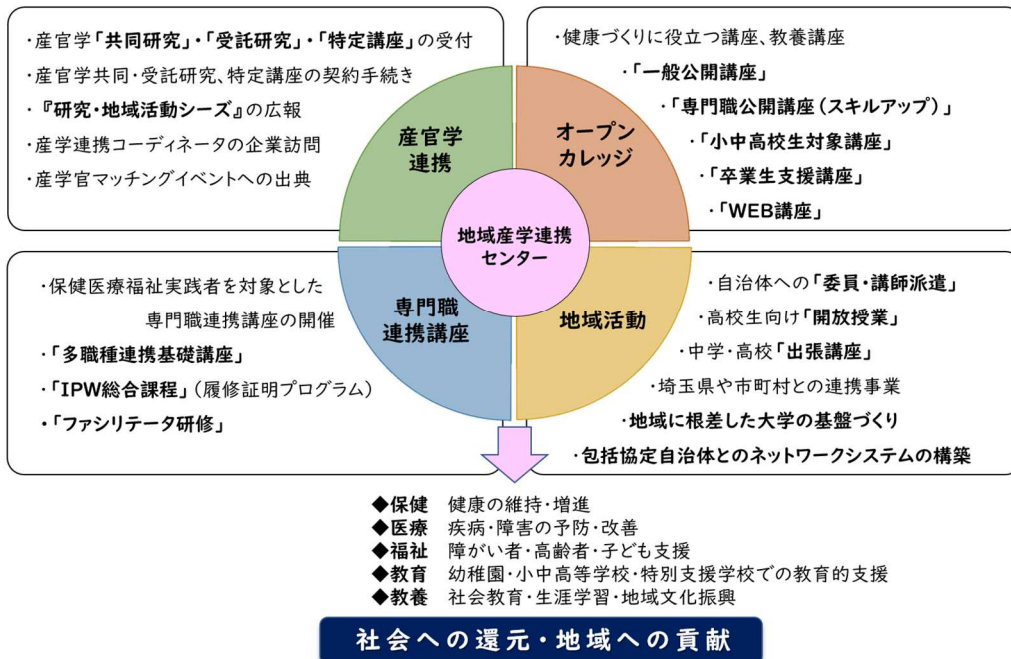
「専門職連携講座」では、本学が開学以来、全国に先駆けて取り組んできたIPW（専門職連携）のノウハウを広く伝え、リーダーの育成を目的に、IPW総合課程、多職種連携基礎講座などを開催しております。

「地域活動」では、自治体等への委員・講師派遣、中学・高校への出張講座、県内自治体・大学近隣自治会等との各種連携事業など、地域に根ざした大学づくりに取り組んでおります。

本報告書に2021年度の活動の詳細をまとめましたのでご高覧ください。

埼玉県立大学の教職員・学生が地域の皆様と共に歩み、地域の一員として役割を担えるよう努めて行く所存です。皆様におかれましても、地域産学連携センターの活動に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域産学連携センターの事業構成



2022年6月

埼玉県立大学地域産学連携センター
所長 田口 孝行
副所長 北畠 義典

地域産学連携センターの概要

本学は、地域との連携・交流及び県民の教育研修などを行う学内組織として、2003年4月に「教育研修センター」を設置した。その後、2008年4月1日から「地域産学連携センター」と名称を変更し、対外的な窓口として、地域貢献活動を全学的に推進している。

地域産学連携センターは、本学の教育研究資源やその成果を用いて、地域社会、企業及び自治体等と連携し、保健・医療・福祉の水準の向上と地域産業の振興及び地域社会の発展に貢献する際の中核拠点となっている。

1 地域産学連携センターの主な業務

(1) 産官学連携相談受付の窓口

地域の企業、行政機関等との共同研究・受託研究・特定講座の受付窓口
産業界への学内情報の発信や研究シーズ・研究成果の公表

(2) 大学の特色を生かした各種講座の開催

一般公開講座やWEB講座の開催
スキルアップのための専門職公開講座、卒業生支援講座の開催

(3) 保健医療福祉従事者のキャリアアップのための専門職連携講座等

「専門職連携を学ぶ講座」などの保健医療福祉分野に従事する方を対象とした各種専門職講座、社会福祉士実習指導者講習会の実施

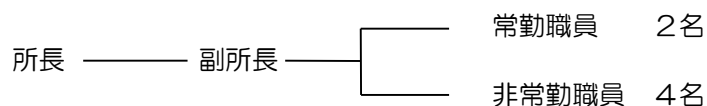
(4) 県・市町村等への支援・連携及び地域社会との連携の窓口

県・市町村などへの委員派遣、講師派遣、指導・助言
県・市町村などとの連携事業の実施
中学、高校との連携（出張講座・開放授業）

2 地域社会との連携に関する主な取り組み

2008年	1月	財団法人埼玉りそな産業協力財団との間で「産学連携協力に関する覚書」締結
2008年	4月	教育研修センターを地域産学連携センターに改称
2009年	7月	越谷市との間で「連携協力に関する包括協定」締結
2010年	5月	産学連携コーディネータ設置
2010年	6月	企業向け特定講座の制度創設
2010年	7月	県内6金融機関との間で「産学連携協力に関する覚書」締結
2011年	10月	さいたま市と大学コンソーシアムさいたまとの間で「連携に関する包括協定書」締結
2011年	11月	春日部市との間で「包括的連携に関する協定書」締結
2019年	2月	志木市との間で「地域包括ケアシステムの構築に関する協定書」締結
2019年	6月	北本市との間で「地域包括ケアシステムの構築に関する協定書」締結
2019年	11月	国立市との間で「『国立市地域医療計画』推進のための連携協力に関する協定書」締結
2019年	11月	全国健康保険協会埼玉支部（協会けんぽ埼玉支部）との間で「埼玉県民の健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定書」締結
2019年	12月	加須市との間で「健康寿命の延伸に向けた取組に関する協定書」締結
2020年	2月	いきいき埼玉との間で「相互連携に関する協定書」締結
2021年	5月	吉川市との間で「包括的な連携協力に関する協定」締結

3 地域産学連携センターの組織



1 産官学連携相談受付の窓口

本学は、魅力ある地域づくりや産業の活性化に寄与するため産学連携を推進している。Covid-19 蔓延防止対策のため、企業訪問活動の制限などを受けつつも、IT 技術の利用により、本学の知的資源を研究シーズとして積極的に公開し、産業界、行政機関との連携を推進し、研究協力を積極的に進めている。

(1) 地域の企業、行政機関等との共同研究・受託研究・特定講座の受付窓口

産官学連携の3つの仕組みとして、本学と企業の研究者が共同して研究に取り組む「共同研究」、企業から依頼された特定のテーマについて本学の教員が研究する「受託研究」、商品開発における専門的なアドバイスや社員向け研修などを行う「特定講座」がある。2021 年度の実績は以下のとおりである。

◆2021 年度の実績

事業名		担当教員	
共同研究	液体クロマトグラフィーによるリポ蛋白分析に関する共同研究	健康開発学科	廣渡祐史教授
共同研究	健康経営の枠組みによる健康課題の見える化に関する研究	健康開発学科	津野陽子准教授
共同研究	在宅高齢者・障がい者の排泄を支援する在宅トイレ補助具の研究	看護学科	國澤尚子教授
共同研究	科学的データに基づいた医療従事者用被服の開発	理学療法学科	国分貴徳准教授
共同研究	障害者のための新たな衣服開発	作業療法学科	小池祐士助教
共同研究	骨盤ベルトによる姿勢制御戦略への波及効果の妊娠中から産後に至るまでの継続的検証	理学療法学科	須永康代准教授
共同研究	腰痛患者に対する姿勢矯正補助具の効果	作業療法学科	小池祐士助教
共同研究	乳児の月例による睡眠と Motor milestones に関する観察研究	健康開発学科	有竹清夏准教授
共同研究	自閉スペクトラム症の子どもと保護者に対するタブレット版ロールプレイトの共同研究	作業療法学科	柴田貴美子准教授
共同研究	脳卒中片麻痺患者における空気圧人工筋による短下肢装具を用いたリハビリテーション効果に関する研究	理学療法学科	小栢進也准教授
共同研究	Deep learning を用いた舌癌エコー術後頸部リンパ節転移予測システムの開発	健康開発学科	岡田茂治准教授
受託研究	横アーチを補助するサポーター着用による動作中の足圧変化	理学療法学科	小栢進也准教授
受託研究	CERP インソールが歩行・走行に及ぼす影響に関する運動学的データの解析	理学療法学科	国分貴徳准教授
受託研究	認知症対応型 AI/IoT システム研究推進事業	社会福祉こども学科	鳶末憲子准教授
受託研究	フレイル予防事業業務委託契約 (吉川市)	理学療法学科	田口孝行教授
受託研究	疾患罹患状況等に関する調査等一式	健康開発学科	大木いずみ教授

	事業名	担当教員	
特定講座	新型コロナ感染拡大で大学が学んだこと ―連携と支援―		星文彦学長
特定講座	「4年後、介護サービスはこう変わる！」―専門職間が連携できるケースマネジメントとサービス質の向上 電子情報化によるサービスの質評価の推進―	大学院研究科	川越雅弘教授
特定講座	多職種協働によるケアマネジメント実践 ―高齢者虐待を未然に防ぐために―	社会福祉こども学科	小川孔美准教授
特定講座	がん治療を受ける患者、家族へのケア	大学院研究科	飯岡由紀子教授
特定講座	コラボ弁当企画「せんげん台・越谷新発見/再発見 ～ガーヤちゃんの町自慢弁当ができるまで～」	共通教育学科	浅川泰宏准教授
特定講座	地域における居場所について	社会福祉こども学科	小川孔美准教授
特定講座	埼玉未来大学前期課程 ライフデザイン科25講座・アクティブコース1講座		
特定講座	埼玉未来大学後期課程 ライフデザイン科18講座		
特定講座	黒酢の成分について（黒酢に含まれ血圧低下成分の解析方法と結果）	健康開発学科	久保田亮准教授
特定講座	前期健康長寿プログラム（運動機能・体組成測定結果の評価、公開講座講師）		
特定講座	後期健康長寿プログラム（運動機能・体組成測定結果の評価、公開講座講師）		


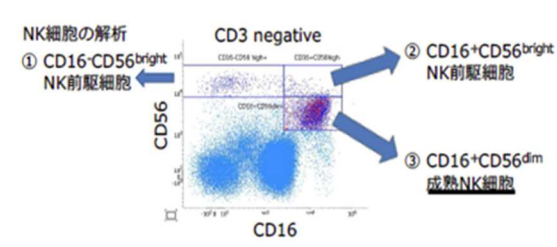
（2）研究シーズ（2021年5月追加掲載）版発行

産学連携と研究シーズ2020-2021（隔年発行）に対し、新掲載（12シーズ）および更新（4シーズ）をした追加掲載版を発行し、大学の有する研究シーズの広報に努めた。



(3) 産業界への学内情報の発信や研究成果の公表

各種ビジネスマッチングイベントにオンライン出展し、研究成果を積極的に発信することで、大学の有する研究シーズの広報に努めた。

事業名	さいしんビジネスフェア 2021
日時/会場	2021年5月10日(月)~6月30日(水) / Web サイト
概要 担当教員	<p>「さいしんビジネスフェア」(主催:埼玉縣信用金庫/特別協賛:川口信用金庫、青木信用金庫、飯能信用金庫)は、隔年開催のマッチングイベントで、2021年度はオンライン会場とリアル会場のハイブリッドで開催となった。本学はオンライン会場に以下の研究シーズを出展し、広報した。</p> <p style="text-align: center;"><u>疾病予防に繋がる新たな免疫賦活法の確立</u></p> <p style="text-align: center;">健康開発学科 白土佳子准教授</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>研究内容</p> <p>超高齢社会を迎えたわが国では、平均寿命延伸するなかで“健康寿命延伸”に向けた取り組みが重要視されています。健康寿命延伸のためには、加齢に伴う免疫状態の低下を免れ、日常生活の中で免疫状態向上を自ら主体的に取り組むことが非常に重要であると考えます。私たちは、免疫機能の増進を図る目的で考案された「ノック式胸腺刺激法」が免疫機能の活性化をもたらす方法として、「多くの人が簡便で利用しやすい健康維持・増進 並びに 疾病予防」となる効果的な方法として確立を目指すために、胸腺刺激の効果について末梢血免疫細胞動態を調べ、科学的な検証を行なっています。 *ノック式胸腺刺激法開発者:一般財団法人博慈会 老人病研究所 所長 福生 吉裕先生</p> <p>末梢血中の免疫担当細胞の活性化動態を幅広く解析することで、高齢者における免疫機能の維持・増進に繋がる新たな免疫賦活法として提案することにより、予防医学に貢献したいと考えています。</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ノック式胸腺刺激法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 両腕を胸の高さにあげ、両肩をそらして3回広げる。 ② 胸骨部(心臓よりやや上方)を3回叩き、胸腺を刺激する。 ①, ②を一連の動作として10セットを1日2回(朝, 晩)実施する。 <div style="text-align: right;">  </div> <p style="color: red;">この胸腺刺激法の特徴は、特殊な器具を必要とせず、いつでも、どこでも行うことができ、且つ経済的負担がないことである。</p> <p><small>* 胸腺は胸骨背部、心臓前上部にある臓器でT細胞やNK細胞の分化・成熟に関与するが、加齢とともに萎縮し免疫能の低下をもたらします。免疫能低下は感染症やがんなどの疾患リスクを上昇させるため、簡易的な免疫能回復法が望まれます。ノック式胸腺刺激法の実施にて、強力な抗腫瘍効果を有するNK/NKT細胞の増加や活性化の亢進が見出されれば、高齢者などにおける疾病予防に大きく貢献する研究となります。</small></p> </div> <p>科学的検証では、フローサイトメトリー解析(右図)により、病原体などに対する初期の生体防御反応を担う重要な自然免疫系の免疫担当細胞であるナチュラルキラー(NK)細胞やNKT細胞の細胞活性化動態に注目し、研究を進めている。中でも、NKT細胞は強力な抗腫瘍効果を示す細胞である。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

事業名	イノベーション・ジャパン 2021～大学見本市 OnLine
日時／会場	2021年8月23日（月）～9月17日（金）／Web サイト
	<p>「イノベーション・ジャパン」（主催：国立研究開発法人科学技術振興機構／共催：文部科学省）は、国内最大級の産学マッチングで、全国の大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人から出展された選りすぐりの技術シーズ400件が11分野に分類され展示された。本学は以下の研究課題（演題）でエントリーし、関連する研究シーズ群を紹介した。</p> <p style="text-align: center;">上肢の運動障害の重症度を識別してリハビリテーションを最適化する装置</p> <p style="text-align: center;">作業療法学科 濱口豊太教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記演題にて、8/24（火）研究者プレゼンを実施した（ストリーム配信）。 ・開催期間中わたり、手指運動を撮像して運動麻痺を推定する装置や開発したロボットアームを動画で紹介した。 <p>動画：イントロダクション 動画：1 上肢運動療法用アームロボット Dicephalus 動画：2 上肢運動療法技能評価システム Samothrace 動画：3 手指運動機能評価システム Fahrenheit 動画：4 開発中</p> <p>資料1：人工知能による運動機能リハビリテーション評価システムの開発 資料2：理学療法士と作業療法士の用手運動療法技能を検定するロボット 資料3：運動関連脳電位でパワーアシストするロボットリハビリテーション</p> <p style="text-align: center;">【開発した装置・システムの紹介】</p> <div data-bbox="555 1137 1286 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ロボティクス・リハビリテーションの開発</p> </div> <p style="text-align: center;">【開発中の装置・システムの紹介】</p> <div data-bbox="549 1637 959 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4 手指関節障害を予防するハサミ</p> <p>握力の少ない・握りかた ハサミの持ち方 ハサミの開閉速度 ハサミの開閉回数</p> <p style="text-align: right;">オキノ工業ロボティクス株式会社 株式会社七訂リ</p> </div> <div data-bbox="995 1637 1406 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>不安や落ち込みを予防する注意偏向修正練習装置</p> <p style="text-align: right;">Tokizawa H, et al. <i>Int J Behavioral Medicine</i> 2020, Kozumi K, et al. <i>PLoSOne</i> 2016</p> </div>

事業名	オンライン彩の国ビジネスアリーナ2022（産学連携フェア）
日時／会場	2022年1月25日(火)～2月14日(月)／Web サイト
概 要 担 当 教 員	<p>ビジネスマッチングイベント「彩の国ビジネスアリーナ」（主催：埼玉県、埼玉県産業振興公社、埼玉県情報サービス産業協会、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫）が、前年度に引き続き、2021年度はオンライン展示会として開催され、本学は大学紹介、および研究シーズ紹介を行った。</p> <p>●大学紹介 動画による大学・施設、本学産学連携の紹介</p> <p>●大学連携マッチングサイト（16名の研究シーズを紹介）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防とヘルスリテラシー 看護学科 善生まり子教授 ・運動解析や病態並びに運動介入による効果検証 理学療法学科 金村尚彦教授 ・呼吸器シュミレーションモデリング研究 理学療法学科 木戸聡史准教授 ・“運動”を key word とした効果検証、製品開発～バイオメカニズム研究～ 理学療法学科 国分貴徳准教授 ・運動関連脳電位でパワーアシストするロボットリハビリテーション 作業療法学科 濱口豊太教授 ・映像による運動観察を用いた上肢練習プログラムの作成 作業療法学科 鈴木貴子准教授 ・ボランティアの支援及び地域福祉活動に関する研究 社会福祉子ども学科 保科寧子准教授 ・大腸がん検診の向上に関する研究 健康開発学科 岡田茂治准教授 ・セルロースアセテート膜電気泳動法と高感度銀染色液を用いた腎障害部位分類法 健康開発学科 久保田亮准教授 ・電子顕微鏡用いた細胞診検査法の開発 健康開発学科 矢野哲也准教授 ・環境試料中の化学物質の分析法開発 共通教育科 四ノ宮美保准教授 ・身体運動の操作法の分析と改善 理学療法学科 山崎弘嗣教授 ・社会的成果につながる健康づくりへ ー研究をどのように実社会に還元するかー 健康開発学科 北富義典教授 ・疾病予防に繋がる新たな免疫賦活法の確立 健康開発学科 白土佳子准教授 ・健康経営の推進ー健康課題の見える化と健康文化の醸成ー 健康開発学科 津野陽子准教授 ・健康づくり（フレイル予防）・地域づくりシステムの開発 ー住民主体の健康づくり活動・地域づくり活動を支援する事業研究ー 理学療法学科 田口孝行教授

(4) 産学連携を促す企画の実施

地域産学連携センターの理念（基本的考え方）を共有すると共に、産業界との連携を促進するために、（一財）医療・福祉・環境経営支援機構と共同企画を実施した。

「産」の事業創造（地域貢献≒事業活動）、および「学」の理念実現（教育研究の成果の社会還元／地域産業の振興・地域社会の発展）のために、未来の産学連携の掘り起し（連携の種・芽づくり）を行った。

事業名	産学連携共同企画「産学連携のプロセスを知る」
日時／会場	2021年10月12日(火) / 大宮ソニックシティ 31 階（三井ホーム(株) 会議室）
概要 担当教員	<p><前半> 産学連携共同企画『産学連携のプロセスを知る』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「趣旨説明・産学連携の概要」 埼玉県立大学 地域産学連携センター センター長 田口孝行 ・「産学連携事例①」 株式会社USEN コンテツブ デュース統括部編集部 部長 松本茂雄 ・「産学連携事例②」 ナカ工業株式会社 上席執行役員 村井信幸 <p><後半> 意見交換『産学連携の先駆者から学ぶ、産学連携のきっかけ・動機』 ～未来の産学連携の種（芽）を見い出し、地域貢献≒事業活動を目指す～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者同士の意見交換（Q&A）」 ファシリテーター：埼玉県立大学 地域産学連携センター センター長 田口孝行 (補佐：mwe 櫻井事務局長) 登壇者：産学連携 事例発表企業（株）USEN・ナカ工業(株) 埼玉県立大学 地域産学連携センター コーディネーター 篠田裕二 (産学連携について補足)



2 大学の特色を生かした各種講座の開催

本学の保健医療福祉分野の専門性を活かし、健康づくりに役立つ一般県民向けの公開講座とWEB講座を実施している。

2021年度は、一般県民向けの公開講座を12講座、延べ32回実施し、延べ受講者数は301人であった。

※ コロナ禍が終息せず8講座17回の実施が中止となった。

また、気軽に保健医療福祉に関する専門的な知識を誰でも無料で得ることができる講座として、WEB講座を年3回(6月、10月、2月)ホームページに掲載している。

2021年度は、コロナ禍の身近な話題をテーマにしたもの等を掲載した。

◆2021年度一般公開講座実施状況一覧

講座名	開催日	回数	人数	受講料 (円)	主担当の教員	
					理学療法 学科	
健康のために取り組む生活習慣病の対策	5/29(土)	1	14	1,000	理学療法 学科	井上和久 准教授
高齢者の身体と理学療法	6/22(火)	1	11	1,000	理学療法 学科	国分貴徳 准教授
損なわれた関係を正し修復する RJ対話の会体験会	7/4(土)、9/20(月祝)、 11/23(火祝)	3	27	1,000	社会福祉 こども学科	梅崎薫 教授
夏休みこども講座 ～身近なものからDNAを取り出そう!	8/3(火)	1	15	1,000	健康開発 学科	白土佳子 准教授
科学折り紙入門 ～立体構造はじめの一步	7/17(土)、7/24(土)、 7/31(土)	3	16	無料	共通教育科	石原正三 教授
市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ	10/9(土)、11/13(土)、 12/11(土)	3	49	1,000	健康開発 学科	久保田亮 准教授
精神障害者家族による家族自身の リカバリートーク ～私たちは何を体験したか～	10/30(土)	1	34	1,000	看護学科	森田牧子 准教授
子ども劇場	3/19(土)	1	12	無料	社会福祉 こども学科	伊藤知子 准教授
埼玉県立大学のオンライン聖地巡礼	3/6(日)	1	7	無料	共通教育 学科	浅川泰宏 准教授
出張!子どもの発達サポート相談 ～作業療法士による～	7/8(木)、11/29(月)、 1/24(月)、2/1(火)	4	10	無料	作業療法 学科	川俣実 教授
出張!障害予防相談会 ～理学療法士による～	11/17(水)	1	30	無料	理学療法 学科	村田健児 助教
体力測定会 in 埼玉県立大学	3/23(水)、3/24(木)、 3/25(金)、3/26(土) ※各日複数回実施	12	76	無料	理学療法 学科	小栢進也 准教授
合 計		32	301			

◆2021年度WEB講座実施状況

(2021年6月掲載)

テーマ「継続するコロナ禍で変化する私たちの生活」

テーマ設定の背景

新型コロナウイルスの感染防止対策は既に1年を越えて継続しています。毎日の生活や行動、仕事や働き方、社会生活の面で、私たちはこれまでと異なる対応を強いられてきています。こうした対応と変化が長期化することで、私たちの生活はすでに大きく変わりつつあるといっても過言ではありません。

今回は、コロナ禍での私たちの生活が、身近な高齢者や子どもの生活の面で、大学生の生活の面で、日々の社会での働き方の面でどのような変化となって現れているのか、その実態と対応を専門の先生方から紹介いたします。それぞれにこれまででない変化と対応の状況が示されています。これらを通して、コロナ後の今後の生活の仕方や望ましい取り組みを、皆さんと一緒に考える機会としたいと存じます。

編集担当：社会福祉子ども学科准教授 木下 聖

タイトル	執筆者
「新型コロナウイルスと私たちの生活」	社会福祉子ども学科准教授 高島 恭子
「コロナ禍における大学生～人とのつながり再考～」	保健センター内学生相談室 臨床心理士 飛田 ゆき野
「コロナ禍で拡大する貧困と多様化する支援」	社会福祉子ども学科准教授 大岡 華子

(2021年10月掲載)

テーマ「コロナ禍における情報リテラシー」

テーマ設定の背景

新型コロナウイルスの影響が長期化する中、新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報が溢れています。これらの情報の中には、科学的に不正確だったり、真実とは異なる情報や、誤解を招く情報が紛れ込んでいる場合も数多くあります。情報がたくさん溢れている世の中で、正確な情報を見抜くということは簡単なことではありません。

今回は、「コロナ禍における情報リテラシー」ということで、科学的な根拠が示されている情報や、行政機関や学会といった公的機関による発信などをお示しし、信頼できる情報源を選んで参照していくことについて、考えていく機会になればと思っております。

編集担当：健康開発学科准教授 岸井 こすゑ

タイトル	執筆者
「そのマスクは誰のため？」	健康開発学科准教授 村井 美代
「コロナ禍でのオーラルフレイル予防」	健康開発学科准教授 秋山 恭子
「検索情報から、ワクチンへの疑問を読み解く」	健康開発学科准教授 吉永 亜子

(2022年2月掲載)

テーマ「自分らしい生活を可能にする福祉機器」

テーマ設定の背景

超高齢化社会を迎え、介護は身近な存在となっています。障害の有無に関わらず、福祉機器の活用によって、自分らしい生活を継続、維持する可能性が拡がり、また介護者も介護負担を軽減し自分らしい生活ができる一助となることと思います。

そこで今回のWeb講座では、福祉機器の選び方のポイント、3Dプリンタを活用した福祉用具や科学的根拠に基づいたトイレの手すりについて、今後役立つ情報を提供できればと考えております。

編集担当：作業療法学科准教授 柴田 貴美子

タイトル	執筆者
福祉用具を選ぶ際のポイント	作業療法学科教授 臼倉 京子
3Dプリンタを使った日常生活の支援	作業療法学科助教 小池 祐土
安全で自立したトイレ動作を可能にするために 手すりは壁から飛び出した	看護学科教授 國澤 尚子

3 保健医療福祉従事者のキャリアアップのための専門職研修等

保健医療福祉分野に従事する方を対象に、キャリアアップのための専門職講座や講習会、研修会等を実施している。

専門職講座としては、2021年度は、9講座、延べ33回実施し、受講者数は、延べ638人であった。

※ 新型コロナウイルスの影響により、対面講座の3講座14回の実施が中止となった。

(1) 専門職講座の実施状況

講座名	開催日	回数	延べ人数	受講料	主担当の教員	
施設勤務理学療法士向け 症例検討会・講習会	[WEB] 5/21(金)、7/14(水) [対面] 11/16(火)、1/25(火)、 3/24(木)	5	47	無料	理学療法 学科	国分貴徳 准教授
臨床家のための看護研究セミナー	7/26(月)、10/25(月)、 11/29(月)、12/20(月)	4	17	1,000	看護学科	兼宗美幸 教授
養護実践事例検討会	10/16(土)	1	65	無料	共通教育 学科	上原美子 教授
理学療法学科 臨床実習受け入れ施設 対象講習会	[WEB]8/25(水)、8/26(木)、 8/27(金)※、9/1(水)、 9/2(木)、9/3(金)、9/16(木) [対面]8/25(水)、8/27(金)、 9/3(金)、10/1(金)※、3/23(水) ※1日2開講	14	118	無料	理学療法 学科	原和彦 教授
ケースマネジメントに関する 思考プロセスの強化に向けた研修	10/2(土)、10/9(土)、 10/23(土)	3	18	1,000	大学院 研究科	川越雅弘 教授
SDGs セミナー ～すべての人に健康と福祉を、 看護職の私たちにできること～	9/3(金)、9/24(金)、 10/15(金)	3	90	無料	看護学科	山口乃生子 准教授
キャリア開発研修（助産師）	2/26(土)	1	48	無料	看護学科	鈴木幸子 教授
認定看護師フォローアップ講座	3/5(土)	1	175	1,000	看護学科	星野純子 准教授
音楽療法の実際	3/19(土)	1	60	無料	作業療法 学科	上原栄一郎 准教授
合計		33	638			

(2) 社会福祉士実習指導者講習会

「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に伴い、社会福祉士実習を行う実習施設・機関の実習指導者の要件が、「社会福祉士の資格を取得後3年以上の相談援助業務の経験を有する者であって、かつ、実習指導者を養成するために行う講習会であって厚生労働大臣が別に定める基準を満たすものとしてあらかじめ厚生労働大臣に届けられたもの（社会福祉士実習指導者講習会）を修了した者」と改められた。

本学は、この法改正に対応するため、平成23年度から社会福祉士実習指導者講習会を開催している。2021年度は、オンライン講習（Zoom）にて開催。38名が修了した。

◆2021年度埼玉県立大学社会福祉士実習指導者講習会の概要

① 開催日

1日目：2021年6月26日（土）

2日目：2021年7月10日（土）

② 講習会内容・講師

教員は社会福祉子ども学科

佃 志津子・富田 文子・相良 翔・岡 桃子・高島 恭子

■1日目（2021年6月26日土曜日）オンライン講習（Zoom）

時間	内容	担当者
9:45～10:00	開講式、オリエンテーション	佃 志津子
10:00～12:00	実習指導概論（講義2時間）	佃 志津子
12:00～12:50	（昼食）	—
12:50～14:50	実習マネジメント論（講義2時間）	富田 文子
14:50～15:00	（休憩）	—
15:00～18:00	実習プログラミング論（講義3時間）	相良 翔

■2日目（2021年7月10日土曜日）オンライン講習（Zoom）

時間	内容	担当者
9:45～	Zoom説明	佃 志津子
10:00～12:00	実習スーパービジョン論（講義2時間）	岡 桃子
12:00～13:00	（昼食）	—
13:00～14:00	実習スーパービジョン論（1） （演習1時間）	高島 恭子 富田 文子
14:00～18:00	実習スーパービジョン論（2） （演習4時間）	岡 桃子 佃 志津子
18:00～18:10	閉講式	佃 志津子

(3) 専門職連携を学ぶ講座の開催

専門職連携を学ぶ講座として、「IPW 総合課程」と「多職種連携基礎研修」の2講座を開催した。

「IPW 総合課程」は、IPW（Interprofessional Work：専門職連携）を推進するリーダーとなる実践家の育成を目的とする、IPW に関する体系的で実践的な講座で、8月から12月の間に全8日間の日程で開催された。この講座は、IPW に関する基本理論や最近の動向、施設や地域でのファシリテーターとしての方法論や技術、各専門別あるいは様々な具体的な状況におけるIPW の実際を学び、各施設やそれぞれの地域の実情に合わせてIPW を実践できるリーダーの育成を目標としている。

また、2021年度から学校教育法に基づく「履修証明書」を交付することができる履修証明プログラムとして開講した。

開催方法については、遠隔地からの受講を可能にするとともに、受講者の通学負担の軽減を考え、2020年度に引き続き、オンライン（Zoom ミーティング）開催とした。

「多職種連携基礎研修」は、医療や福祉の現場で必要となる、職種の垣根を越えて実施されるチームワークの基礎を学ぶ講座で、2021年度についても新型コロナウイルス感染症拡大に配慮し、オンライン（Zoom ミーティング）開催となった。

◆ IPW総合課程の概要◆

- ①開催日 2021年8月21日（土）～12月4日（土）【全8回】
- ②開催方法 Zoomによるオンラインミーティング
- ③修了証書交付者 24名（定員20人）
- ④受講料 20,000円
- ⑤会場、内容、講師
「2021年度IPW 総合課程スケジュール」のとおり

◆多職種連携基礎研修の概要

- ① 開催日：2022年2月13日（日）13:30～17:30
- ② 開催方法：Zoomによるオンラインミーティング
- ③ 主な内容：
 - ・多職種連携が求められる背景とチームワークの考え方
（多職種連携が求められる背景、専門職連携（IPW）のための基礎力、チームワークの考え方、信頼関係の構築）
 - ・チームワークを深化させる「コミュニケーション技術」
（非言語コミュニケーション、傾聴の技術、話し合う技術）
 - ・「リフレクション」を通じて自己とチームワークを俯瞰する
（なぜ「リフレクション」なのか、リフレクションのスキル）
- ④ 講師：
 - 井上 和久（理学療法学科）
 - 會田みゆき（看護学科）
 - 山本 英子（看護学科）
 - 善生まり子（看護学科）
 - 佐藤 玲子（健康開発学科）
 - 小泉 浩平（作業療法学科）
- ⑤ 受講料：無料
- ⑥ 参加者 18名（定員30人）

2021年度IPW総合課程 スケジュール

回(日程)	時間	科目・単元名	講師
第1回 8月21日 (土)	9:30 ~ 9:40	開講式「学長あいさつ・全体オリエンテーション」	星文彦・田口孝行
	9:40 ~ 10:25	IPW総論①「IPW/IPEとは？」	田口孝行
	10:35 ~ 12:15	IPWの基礎①「参加者を知る(自己紹介)」 オンラインIPW実施ツール①google jamboardの使用方法	國澤尚子
	13:00 ~ 14:30	IPWの基礎②「コミュニケーションと自己理解」	江口のぞみ
	14:40 ~ 15:25	IPWトピック講座①「隣接領域(特別支援教育)における連携」	森正樹
	15:30 ~ 16:15	リフレクション①「第1回の振り返り」	國澤尚子
第2回 9月4日 (土)	9:00 ~ 10:30	IPW総論②「保健医療福祉職に求められるIPW」	川越雅弘
	10:40 ~ 11:25	IPWの基礎③「IPWの基礎となるヒューマンケア」	朝日雅也
	11:30 ~ 12:15	IPW各論①「IPWの基本原則」	朝日雅也
	13:00 ~ 15:25	IPW各論②「IPWにおけるチーム活動とチーム形成」	丸山優
	15:30 ~ 16:15	リフレクション②「第2回の振り返り」	國澤尚子
第3回 9月18日 (土)	9:00 ~ 11:25	IPW各論③「IPWにおける葛藤とリフレクション」	嵩末憲子
	11:30 ~ 12:15	IPWトピック講座②「薬剤師との連携」	細谷治(城西大)
	13:00 ~ 14:30	IPW実践の検討①「オリエンテーション」「アイスブレイク」 オンラインIPW実践ツール②googleスライドの使用方法	井上和久・井原寛子 久保田章仁・木下聖 善生まり子
	14:40 ~ 15:25	IPW実習①「オリエンテーション」	田口孝行
	15:30 ~ 16:15	リフレクション③「第3回の振り返り」	田口孝行
第4回 10月2日 (土)	9:00 ~ 11:25	IPW各論④「IPWに必要なファシリテーションスキル」	小川孔美
	11:30 ~ 12:15	IPWトピック講座③「専門職連携教育と精神医学」	金野倫子
	13:00 ~ 16:10	IPW実践の検討②「連携における課題の明確化」 「検討課題の決定」「課題解決策の検討・プレゼン資料作成」	井上和久・井原寛子 久保田章仁・木下聖 善生まり子
第5回 10月23日 (土)	9:00 ~ 12:10	IPW実践の検討③「事例発表:最終ディスカッション」 「事例発表(報告)」	井上和久・井原寛子 久保田章仁・木下聖 善生まり子
	13:00 ~ 13:45	IPW実践の検討④「リフレクション」	善生まり子
	13:50 ~ 15:20	IPW評価(人材育成)① 「IPEの現状・成果・課題」	善生まり子
	15:30 ~ 16:15	IPWトピック講座④「建築分野との連携の可能性」	野口祐子(日工大)
第6回 11月6日 (土)	9:00 ~ 16:00	IPW実習② 1)介護老人保健施設 2)特別養護老人ホーム 他 ※施設とオンラインで接続	田口孝行・國澤尚子 柴田貴美子・小泉浩平佐 藤玲子 柴崎智美(埼玉医大)
第7回 11月20日 (土)	9:00 ~ 10:30	IPW総論③「2040年に向けた地域包括ケアシステムの進展」	田中滋
	10:40 ~ 12:10	IPW評価(人材育成)②「IPWコンピテンシーと自己評価」	國澤尚子
	13:00 ~ 13:45	IPW各論④「改めて『IPW基本原則』を確認する」	朝日雅也
	14:40 ~ 16:10	IPW実習③「実習まとめ:ディスカッション」	田口孝行・國澤尚子 柴田貴美子・小泉浩平佐 藤玲子 柴崎智美(埼玉医大)
第8回 12月4日 (土)	8:30 ~ 9:15	IPW実習④「チームディスカッション:発表準備」	田口孝行・國澤尚子 柴田貴美子・小泉浩平佐 藤玲子
	9:30 ~ 12:10	IPW実習⑤「IPW実習報告会:ディスカッション」	柴田貴美子・小泉浩平佐 藤玲子
	13:00 ~ 13:45	IPW実習⑥「リフレクション」	柴崎智美(埼玉医大)
	13:50 ~ 14:35	リフレクション④「IPW総合課程全体を通しての振り返り」	田口孝行
	14:50 ~ 15:30	修了式「履修証明書授与・学長あいさつ」	星文彦・國澤尚子

4 県・市町村等への支援、連携及び地域社会との連携の窓口

(1) 県・市町村との共同調査、政策立案支援及び連携事業の実施

【埼玉県との主な連携事業】

① 夢を見つける！リアル体験教室

概要：県青少年課が主催する事業。小学校4～6年の児童が、警察官、消防士、アナウンサーなどの職業体験をする。本学では、毎年看護師の教室を担当している。

※ 2021年度は、2020年度に続き、コロナ禍が終息せず中止となった。

② 県民の日 高校生学び“夢”プラン

概要：卒業後の進路を考えることを目的に、大学進学を希望する県内の公立高校の1～2年生が、県内の大学の講義を受講する事業。埼玉県高等学校進路指導研究会の主催で平成26年度から実施されている。

本学では、「埼玉県民の日」が平日に当たった場合には開催している。

※ 2021年度は「埼玉県民の日」が休日に当たり、本学では開講授業がなかったため、開催しなかった。

③ 大学の開放授業講座（リカレント教育事業）

概要：県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、県と県内及び県外近隣にキャンパスを構える大学が協力し、授業の一部を開放している。授業は一般の学生と一緒にいる。

2021年度前期に「社会保障概論」を開放し1名がオンラインで受講した。

【越谷市との主な連携事業】

① シルバーカレッジ

概要：高齢者の生きがい対策の一環として、越谷市福祉推進課が主催する事業。

例年高齢者を対象に講座を10回開催し、このうち4回の講座を本学が共催し実施している。参加者は毎回おおむね150人程度で、北棟大講義室等で講座を開いている。

※ 2021年度は、2020年度に続き、コロナ禍が終息せず中止となった。

② 越谷市市政移動教室

概要：越谷市が市民の市政に対する理解を深めるため実施する市内の施設をまわるツアー形式の事業。本学も組み込まれており、学内の紹介とミニ講義体験を実施している。

※ 2021年度は、2020年度に続き、コロナ禍が終息せず中止となった。

③ 子ども大学こしがや・まつぶし

概要：越谷市教委と松伏町教委のほか民間事業者と連携して、越谷市、松伏町の小学校4～6年生が大学で学ぶことを体験する事業「子ども大学こしがや・まつぶし」を開講している。

※ 2021年度は、2020年度に続き、コロナ禍が終息せず中止となった。

④ 越谷市学生議会

概要：次世代を担う若者が模擬議会を体験することで市政や議会への関心を深めてもらうことを目的に越谷市議会が隔年で開催している事業。学生議員の対象は市内の大学及び高校に通う学生・生徒。

※ 2021年度は非開催年。

⑤ 広報こしがや「健康情報コラム」の掲載

概要：広報こしがやお知らせ版の「健康情報コラム」に市民の健康管理に役立つ情報を掲載している。本学以外にも市内の関係機関・団体からの情報掲載があり、本学では1年に3回の情報掲載を行っている。

掲載号	タイトル	担当教員
4月号	おうち時間増加によるお口の機能低下を予防しましょう。	健康開発学科 助教 秋山恭子
8月号	呼吸を整えて心身のリラックスを	看護学科 助教 小川千恵子
1月号	社会の変化と心	社会福祉子ども学科 准教授 佃 志津子

【春日部市との主な連携事業】

① 大学生政策提案コンテスト

概要：春日部市主催で開催される大学生が政策や事業を提案するイベント。学生が持つ知識や情報、発想の柔軟性や創造力を生かし、複雑化・多様化する市政のさまざまな課題を解決するとともに、学生自らがまちづくりの課題について主体的に調査・研究を行うことを通して、若者の地域社会への愛着とまちづくりへの興味を醸成し、参加意欲の高揚を図ることを目的としている。

※ 2021年度は、コロナ禍が終息せず中止となった。

【吉川市との連携事業】

吉川市とは、2021年5月28日に包括連携協定を締結し、11月に連携事業の実施についての打ち合わせを行った。

継続的な事業の立ち上げは今後進めていく予定であるが、講師派遣4件、委員推薦1件を行った。

【さいたま市との主な連携事業】

① 第10回学生政策提案フォーラムinさいたま

日時：2021年11月7日（日） 14:30~18:00

開催（採点）方法：事前提出説明動画及びオンラインでの意見交換による採点

概要：さいたま市と近隣の12大学で連携して地域社会の発展に寄与することを目的に、「大学コンソーシアムさいたま」を設立しその一環として学生政策提案フォーラムを開催している。「大学コンソーシアムさいたま」加盟大学の学生が、さいたま市の政策・事業について企画検討・提案することにより、地域社会への愛着と関心を深め、もって、さいたま市の発展に寄与することを目的として開催している。

2021年度は、共通テーマのSDGs、または自由テーマにより、各大学とも、学生の専攻分野等を活かした政策提案を発表。本学からは作業療法学科の4チームが参加し、様々な角度から考察した提案のプレゼンテーションを行い、1チームが「最優秀賞」を受賞した。



最優秀賞チーム

（2）本学教員の県・市町村等の審議会等への委員派遣、研修会等への講師派遣

2021年度実績

単位：件

区分	委員委嘱	講師派遣	指導助言	総計
埼玉県	30	32	10	72
県内市町村	63	29	14	106
都道府県	14	25	2	41
国	18	2	1	21
医療機関	7	38	6	51
小・中・高校	6	6	0	12
大学・教育機関	6	157	5	168
民間機関	15	8	3	26
その他 *1)	71	103	27	201
総計	230	400	68	698

*1) その他：学会など

(3) 教員免許更新講習

本学では、教科指導、生徒指導その他教育の充実に係る事項【選択領域】講習について、次のとおり教員免許更新講習を実施した。

コロナ禍のため、定員を各 40 名（8/3 幼児教育は 20 名）に調整し、実施した。

講習名	担当講師	開講日	時間	受講
子どもの個性を認めるかかわり ～子どもの感覚機能の発達に着目して～	作業療法学科教授 中村 裕美 作業療法学科准教授 石岡 俊之	7/29 (木)	6 時間	24 名
幼児期の豊かな学びを支える教育	社会福祉子ども学科教授 越智 幸一 社会福祉子ども学科助教 居崎 時江	8/3 (火)	6 時間	15 名
困難を抱えた子どもと保護者との 関わり ～不登校・発達障害に着目して～	共通教育科教授 東 宏行 共通教育科准教授 森 正樹	8/4 (水)	6 時間	37 名
学校保健の今日的課題と実践	健康開発学科教授 高橋 宏至 共通教育科教授 上原 美子	8/6 (金)	6 時間	12 名

(4) 中学、高校との連携（出張講座、開放授業、体験実習等）

① 高校等出張講座

高等学校等からの依頼に基づき、高等学校等へ教員を派遣し、出張講座を実施している。

2021年度は、中学校1校、高等学校31校、特別支援学校1校で実施した。

主な実施状況は次のとおり。

講座日	学校名	テーマ	学科	担当教員
2021/07/09	県立松伏高等学校	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
2021/07/16	県立白岡高等学校	がん教育	社福	佃志津子
2021/07/19	県立岩槻北陵高等学校	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
2021/09/29	都立上野高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	金さやか
2021/10/19	群馬県立館林高等学校	思春期の性の健康	看護	辻本健
2021/10/22	私立昌平高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	鈴木玲子
2021/10/27	県立浦和北高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	渋谷えり子
2021/10/27	県立川口北高等学校	新生児・未熟児の看護-赤ちゃんの集中治療室ってどんなところ？	看護	浅井宏美
2021/10/28	県立大宮南高等学校	運動を科学的に理解する	理学療法	西原賢
2021/10/28	県立松山女子高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	水間夏子
2021/10/29	県立浦和西高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	秋山美紀
2021/10/29	県立蓮田松嶺高等学校	授業中の眠気と生体リズムの関係	作業	久保田富夫
2021/11/02	県立常盤高等学校	全身の健康を維持するために理解したい口腔の機能解剖的役割	健康開発	柳澤 伸彰
2021/11/04	県立岩槻高等学校	自分の健康のための積極的な自己管理の方法を知ろう	看護	山岸直子
2021/11/09	県立坂戸高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	武田美津代
2021/11/09	群馬県立館林女子高等学校	新生児・未熟児の看護-赤ちゃんの集中治療室ってどんなところ？	看護	浅井宏美
2021/11/09	群馬県立館林女子高等学校	福祉用具の具体例について学ぶ	作業	臼倉京子
2021/11/10	筑波大学附属坂戸高等学校	障害のある人が働くことを考える	社福	朝日雅也
2021/11/12	県立所沢北高等学校	クリティカルケアにおける看護	看護	鈴木玲子
2021/11/17	私立東洋高等学校	生活習慣と健康-食生活と身体活動-	看護	會田みゆき
2021/11/19	県立特別支援学校 坂戸ろう学園	思春期の性の健康	看護	鈴木幸子 兼宗美幸 齋藤恵子
2021/11/25	さいたま市立浦和南高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	高橋綾
2021/12/17	県立和光国際高等学校	看護学入門 看護って何だろう	看護	吉村基宜
2021/12/21	飯能高等学校	看護職って、どういう仕事？	看護	金さやか
2022/01/27	県立草加高等学校	最期までその人らしく生きることを支える看護について	看護	平野裕子
2022/02/03	春日部市立緑中学校	性に関する学習講演会	看護	浅井宏美・ 東原亜希子
2022/02/18	県立熊谷女子高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	添田啓子
2022/03/11	県立鴻巣高等学校	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
2022/03/16	県立杉戸農業高等学校	勉強や運動のパフォーマンスを上げるための睡眠のコツ	健康開発	有竹清夏
2022/03/16	県立所沢中央高等学校	キャリア教育に関する講演	看護	山口乃生子
2022/03/17	県立久喜北陽高等学校	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
2022/03/17	県立宮代高等学校	レジリエンス～折れないこころってなんだろう～	社福	佃志津子
2022/03/22	県立深谷第一高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	山口乃生子

② 高校生向け開放授業

本学と近隣10高等学校との間で協定を締結し、高校生が参加可能な5限の講義を高校生に開放している。聴講生としての扱いで単位は修得できない。

2021年度は、前期に「教育学①」「心理学②」「臨床検査学概論」、後期に「老年看護学Ⅰ」がオンラインで開講され、合計40名の高校生が参加した。

(5) その他の地域との連携など

① りそなキッズマネーアカデミー

例年埼玉りそな銀行との共催で、小学生を対象に、お金の流れや社会における銀行の役割などに関する講義や、保健・医療・福祉分野に関する講義・実技を内容とするセミナーを開催している。

※2021年度は、2020年度に続き、コロナ禍が終息せず中止となった。

② 親子サッカー教室

例年浦和レッズの「浦和レッズハートフルクラブ」と協力して「親子サッカー教室」を開催している。

※2021年度は、2020年度に続き、コロナ禍が終息せず中止となった。

(6) 地域専門職連携推進会議

本学は、IP 演習の実習施設の確保や保健医療福祉分野の専門職連携の促進、地域の医療機関や福祉施設等と連携した保健医療福祉のネットワーク化による地域課題解決のための取り組みとして、2006年度より県内12エリア（その後統合により8エリア）に地域専門職連携推進会議を設置して活動を行ってきた。しかし、地域によって活動状況にばらつきが大きくなってきたことや、市町村ごとに地域包括ケア事業に取り組むようになってきたなどの状況変化を踏まえ、2015年度からその在り方の見直し検討を開始した。その結果、2019年度より本学が担ってきた事務局機能を各地域に委譲し、地域主体の運営体制に移行するとともに、本学は各地域の地域専門職連携推進会議が行う研修会の開催を支援していくことになった。

2021年度は新型コロナウイルスの影響もあったが、「埼玉埼玉南専門職連携ねっとわーく」で研修会が開催された。

活動中の推進会議

埼玉埼玉南専門職連携推進ねっとわーく	春日部市、越谷市、松伏町、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、蓮田市
さいたま・県央専門職連携推進会議	さいたま市、鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
埼玉北・北埼玉専門職連携推進会議	加須市、行田市、羽生市、久喜市、幸手市、蓮田市、白岡市、宮代町、杉戸町
入間西・入間東専門職連携推進会議	川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、鳩山町、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町

埼玉県立大学地域産学連携センター
2021年度活動実績報告書

2022年6月発行

発行 埼玉県立大学地域産学連携センター

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820

電話 048-973-4114 / FAX 048-973-4807

E-mail edec@spu.ac.jp

ホームページ <http://www.spu.ac.jp>



(無断複写複製不可)